

どがたんち 大田市ふるさと



大田市ふるさと情報誌

VOL.23

2013.2

帝人コードレの人工皮革で軽量ランドセル 「ニトリと提携で新商品を開発」

世界トップレベルの 素材は大田市から

大田市長久町に主力拠点の島根工場を置く帝人コードレ(株)。帝人グループの企業として高機能の人工皮革を製造しています。

帝人コードレ製の人工皮革は、主にスポーツ関連の大手ブランドメーカーに供給されます。供給された人工皮革はサッカーや野球、バスケットなどのシューズやボールの素材として使用されています。



世界トップレベルの選手も履いているスポーツシューズ



帝人から毎年提供されている
全国高校サッカー選手権大会の公式球

これらの製品は、例えばサッカーや野球のシューズは、世界の一流選手が履いており、サッカーボールは公式試合球として使われています。

また、女子高校生の通学靴として定番の「HARUTA」のローファー(革靴)の人工皮革も供給しています。他にも自動車のハンドルカバーや鞆、雑貨など、その用途は幅広く、身近な製品に帝人コードレ製の人工皮革が活躍しています。

ニトリと提携 高機能ランドセル

帝人(株)とニトリは昨年からランドセル事業でタッグを組んでおり、帝人コードレ製の人工皮革「タフガード」をベースに改良を加えたランドセルを昨シーズンに売り出しました。

「タフガード」をベースにしたランドセル用素材は、擦れや破れに強く、丈夫で軽いランドセルを可能にし、話題を集めました。

今年の新モデルはさらに改良が進められ、耐久性と防水性はそのままに10%の軽量化を実現した「タフガードライト」を本体や肩ひもに採用しています。さらに、汗をかいて蒸れやすい背当て部分には、通気性に優れた人工皮革「エアリー」を使ったほか、A4ファイルも楽に入れられるよう収納力も向上しました。帝人とニトリは新「機能商品」開発プロジェクトを立ち上げ、それぞれの強みを活かした商品開発を推進していくことにしています。

今回のランドセルの開発は、プロジェクトの第一弾として発売されることになりました。帝人コードレは次なる商品の共同開発を進めることに意欲的です。



ニトリと共同開発したランドセル「わんぱく組」

更なる プロジェクトを展開

今後も帝人コードレは、天然皮革では出せない高い機能性を付加した人工皮革の開発に日々取り組んでいきます。その一つとして、

需要が高まっている自動車のハンドルカバーなどにも力を入れていくこととしています。

【会社概要】

帝人コードレ(株)島根工場
製造されているのは、見た目や質感が限りなく天然の皮に近く、それでいて天然の皮にはない軽さ・丈夫さ・通気性などの機能を持たせた人工皮革です。同社製の人工皮革は、様々な製品に姿を変えて私達の身近な所で役立つています。



広大な敷地に約150人が働いている帝人コードレ(株)島根工場(大田市長久町)

【問】 大田市役所産業企画課 ☎0854-82-1600 (内線240)

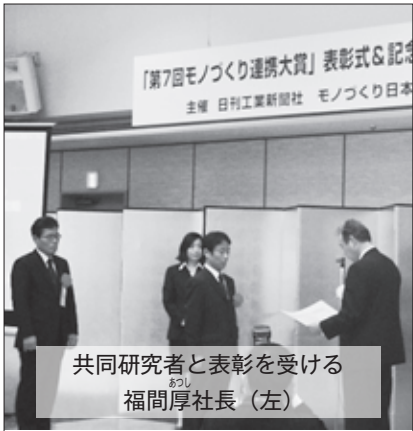


モノづくり連携大賞、特別賞を受賞 (有)奥出雲薔薇園

大田市長久町で食用バラの栽培・販売を行っている(有)奥出雲薔薇園が「第7回モノづくり連携大賞」(主催/日刊工業新聞社)において、特別賞を受賞されました。

モノづくり連携大賞とは、大学や公的研究機関と民間企業が連携して行う取り組みについて、工夫された連携や優れた技術内容に対して与えられます。

この度、島根大学・介護老人保健施設もくもく(出雲市)と奥出雲薔薇園が共同で行った「認知症高齢者の入浴ケアにおける『さ姫』ローズ水を用いた芳香療法



共同研究者と表彰を受ける
福間厚社長(左)

福間社長のコメント

バラの素材の持つ可能性を充分感じさせる研究結果となった。今後も他業種との連携を図り、看護・介護現場で入所者の心身のケアや学習意欲の向上につながる取り組みなど、新しいものにチャレンジしていきたい。

の有用性の研究」において、

バラの香りがもたらす、鎮静・抗不安作用についての共同研究の取り組みが評価され、受賞となりました。今回の研究にあたり、強い芳香と高い品質が求められ、**奥出雲薔薇園**の食用バラ『さ姫』から作られたローズ水が研究資材として、採用されました。

安心安全なバラ



この『さ姫』は長年の造園業で培われたノウハウを生かし、香り高いバラにするため、品種改良を重ねて造られました。

一般的にバラは新芽が出る頃は害虫がつきやすく、夏の暑さにも弱い植物ですが、『さ姫』は更に有機肥料・無農薬で栽培されるため、管理が難しく、早朝から蕾や花の状態を確認し、手作業で病害虫等の駆除を行って育てられています。

様々なバラ関連商品

バラ湯や料理食材として、生花のまま使われるだ

けでなく、商品の原料としても使われており、大田市内外の20を超える企業の商品やサービスに利用されています。

最近では、厳選された原材料を使ったヘアケア商品や化粧品を製造・販売しているBxE(東京青山)から『さ姫』を原材料とした『凛恋(りんれん)ローズ&ツバキ)』シャンプルー、トリートメントが発売されています。

今後は受賞した研究を生かした芳香療養、美術館・



薔薇酒「薔薇姫」
1,750円



凛恋 ローズ&ツバキ
シャンプー/トリートメント
各1,943円

劇場での演出素材、化学物質を使わないペット用フレグランス商品、と様々な分野へのバラの活用を検討されています。

【会社概要】

(株)大田緑地(大田市、造園・土木業)を営む傍ら、農産物のバイオテクノロジーによる栽培の研究開発を行っており、平成4年よりバラの育種研究に取り組んでいる。観賞用のバラではなく、「使う為のバラ」にこだわり、香りや色、バラの機能性を活かした素材の開発を行い、食品、化粧品、医療分野などに原料として提供している。



奥出雲薔薇園

フリーアクセス・ひかりワイド 0800-200-0844

【問】大田市役所大田ブランド推進室 ☎0854-82-1600 (内線234)

名古屋からUターン

加藤さんご一家

大田市空き家バンクで中古住宅を購入！

空き家改修事業を活用

大田市では、市内にあるまだ使える空き家をUターナー者などへの定住対策

に活用するため、平成21年度に「空き家バンク制度」を創設しました。

これまでに約60物件が成約に至り、150名を超える

みなさんが大田市へ定住しています。

また、市ではUターナー者などが「空き家バンク制度」に登録している空き家を、定住を目的として改修する場合に、改修費用の一部を助成しています。

加藤さんご一家は、これらの制度を利用して中古住宅を購入。平成23年12月、名古屋から大田市波根町へUターンしました。



建築年：昭和54年
宅地面積：約100坪
建物面積：約50坪
購入費用：約600万円（土地込）
改修費用：約500万円
（浴室、洗面脱衣所、トイレ、内壁などをリフォーム）



↑浴室は少しスペースを広げてシステムバスに改修し快適に。名古屋のショールームで購入。浴室乾燥機があり、雨の日のお洗濯も大丈夫

洗面脱衣所も明るく清潔な感じにリフォーム



→地元左官に波根町の海のイメージで仕上げてもらった漆喰の壁は正子さんのお気に入り



←男女別だったトイレを1つにして広々とした空間に。手すりも付け、高齢者も安心して利用できる

『ふるさと、島根に帰って』

加藤 正子

高校を卒業して、名古屋で看護師として働き、子育てをしながら34年間暮らしてきました。将来に備えて親との同居を考えていたところ、息子の「島根で暮らそう」の言葉で引越しを決めました。

私は松江で生まれ、父の転勤で大田へ約8年、そして、高2の時に祖母の介護のため江津で約2年間暮らしていました。

引越し先を決めるにあたって、私が学童期を暮らした大田の町がいいのではないかと家を探し始め、大田市定住サイト『どがどが』で波根町の住宅を紹介していただきました。

名古屋からの引越しで、手続きやわからないことなど親切丁寧に説明してくださり、安心して準備を進めることができました。

また、大田市空き家改修事業補助金を受けて、浴室・洗面所・トイレの改修をしました。

大田で暮らし始め、懐かしい通学路や放課後遊んだ公園を歩いたり、同級生と再会し昔話に花を咲かせました。また、町の家並みや景観は変わったところ

もあり、町のおいしいお店などの新しい情報をいただきました。

波根の家は、前に住んでおられた方が裏庭にたくさんのお花を植えておられたので、四季折々の花が咲きます。晴れた日の夜には満天の星空をおおぎ、海からの風が季節の移り変わりを知らせてくれます。ここでは、都会では感じられなかった自然が、心を癒してくれます。

夏には波根町のエコ・アド・ツアーに参加し、海上から自然の神秘に触れる体験をしました。長年の月日を経て、波で作られたといういくつかの洞窟からは自然の力のごさを知ることができました。

現在、島根県立農林大 学校2年の三男は今春卒業し、地元の牧場に就職予定です。次男は土地に慣れ、夢をかなえるため

の仕事探しをしています。

私自身は、名古屋で数年間、訪問看護師として在宅療養をされている方をサポートしていました。こちらでは、久しぶりに病棟勤務となり、三交代や仕事に戸惑いながらも、職場の皆さんの指導や援助を受けながら働いています。

趣味の活動として、久手まちづくりセンターでのコーラスに参加したり、ちよつと足を伸ばして、音楽会やイベントに出かけたりして楽しみを見つけることができました。

昨年は、波根海岸で開かれたキャンドルナイトや心温まる作品が出品されていた文化祭など、少しですが地域の行事にも触れることができました。これからは、地域の行



写真提供：(株)宝島社 『いなか暮らしの本』
左から加藤春樹さん（次男・21歳）、正子さん（53歳）、江津市在住の母親の大谷和子さん（78歳）、智昭さん（三男・20歳）。市内で寮生活中の智昭さんもうずれ一緒に住む予定

事に積極的に参加するなど、生活の輪を広げ、新しいふるさと創りをしていきたいと思っています。また、息子たちが生まれ育った名古屋も、私にとっても大切なふるさとです。

島根県・大田市に住んでいてもまだまだ知らない名所など多くあります。ふるさとを歩きながら、新しい発見や情報や島根から名古屋へ発信したり、交流をしていきたいと思っています。



たてがみいわ 立神岩と たてがみしま 立神島（波根町）
「続いていたと思われる島が離れていても、歴史を示す地層は続いているように見え、家族の絆と静岡（浜松市）で漁師として働く長男の海の安全を祈ってるんです」と正子さん

さんべさん

“三瓶山” 国立公園指定50周年記念



浮布の池と三瓶山

平成25年、三瓶山は大山隠岐国立公園に指定されて50周年を迎えます。

これを契機に、三瓶山の豊かな自然環境を次世代へ継承するとともに、三瓶山の価値や魅力を全国に発信し、たくさんの方々に訪れていただけるような『三瓶山国立公園指定50周年記念事業』を展開します。

三瓶山は、昭和38年4月10日国立公園に指定されて間もなく50周年を迎えます。そこで、実行委員会を立ち上げ、①三瓶山の存在価値を再確認する②三瓶山の自然を守り育て、次世代へ継承する③三瓶山周辺の地域資源の更なる活用を図る、を基本方針とし、「自然環境の保護・継承」「地域振興」「観光振興」につながる事業を約1年間、展開します。



3/2 さんべ花火大会 オープニングイベント

記念事業のスタートを飾る「さんべ花火大会」を3月2日(土)、三瓶山東の原で開催します。
当日はステージイベントや屋台の出店もあります。花火のスタートは夜7時から！3千発の花火が夜空を飾ります。

50周年記念事業の 主なイベント

期間中、これまで行われてきた事業を拡充するほか、なつかしの三瓶山などを紹介する企画展や三瓶そばなどの食の祭典といった新たなイベントを計画！

- さんべ花火大会 (三瓶東の原) 3/2
- 三瓶フェア (モンベル広島紙屋町店にて) 2/16～3/3 土日限定
- 三瓶自然館サヒメル春の企画展 「未来につながる三瓶の自然・隠岐の自然」 3/16～5/19
- なつかしの三瓶写真展・絵画展 (大田市民会館) 5/6～18
- 大田市田舎体験ツアー 桜の里づくり応援ツアー 5/12
- 田植え体験ツアー 5/18
- 三瓶山紹介移動展

豆知識 (大山隠岐国立公園)

昭和11年2月1日大山国立公園として指定され、昭和38年4月10日に隠岐島、島根半島、三瓶山及び蒜山地域の区域拡張を伴い、大山隠岐国立公園に改称されました。

その後、平成14年3月26日に毛無山区域が拡張され、現在に至っています。

鳥取県、島根県、岡山県にまたがる変化に富んだ景観を持つ国立公園です。



くると三瓶くにびきウォーク



昭和30年代の三瓶町池田から見た三瓶山



昭和30年代の三瓶西の原

実行委員会を設立

記念事業を展開するにあたり、16団体で実行委員会を設立しました。三瓶の価値と魅力を全国に発信し、50周年を盛り上げていきます。

・環境省・島根県・国立三瓶青少年交流の家・しまね自然と環境財団・大田商工会議所・大田市観光協会・三瓶まちづくり委員会・大田の自然を守る会・緑と水の連絡会議・石見銀山テレビ放送・飯南町・美郷町・大田市及び各教育委員会



50周年記念
マスコットキャラクター
「テンビー」

現在、作成中のイベントガイドなどで詳しくお知らせする予定です。
また、50周年記念冊子を作成するなど、未来につながる事業も展開していきます。

※開催日、場所等変更になる場合があります。
様々なイベントを企画し、みなさんをお待ちしています。

- 三瓶高原
クロスカントリー大会
8 / 18
 - 記念式典
9月中旬
 - くると三瓶くにびきウォーク
 - さんべ秋の収穫祭(仮称)
- ※開催日、場所等変更になる場合があります。
- (浜田会場) 6 / 1 ~ 12
 - (松江会場) 6 / 15 ~ 23
 - 第68期本因坊戦第1局
(四季の宿さひめ野)
5 / 16 ~ 17

【問】“三瓶山”国立公園指定50周年記念事業実行委員会 事

定住者を囲んで 三瓶地域で意見交換会

近年、Uターン者のニーズは複雑化・多様化し、定住先を決める理由やこだわりは千差万別です。大田市では、特に三瓶地域へのUターン者が増えている状況にあり、地域の皆さんの支援や受入れ体制も整い、良好な関係にあります。

このような中、今後の定住対策に向けて、地域や行政関係者が参加して、Uターン者を囲んで意見交換会を開催しましたので、参加者のコメントをご紹介します。



▶近年、大田市三瓶地域へUターンされた皆さんの内、6家族8人に参加していただき開催された意見交換会。
移住のスタイルは年齢や家族構成、人生の価値観や考え方など、それぞれ様々であることがわかりました。今後も地域一体となった定住支援をしていきます。

理想の家が三瓶にあった

松島 弘之さん(60代)

大阪府柏原市からUターン

定年後に描いていた田舎暮らしに向けて、住まいを捜していた。大田市にこだわってはいなかったが、たまたま理想とする家が見つかった。

大田市は、世界遺産・国立公園・温泉など何でもある素晴らしい町だと思う。

都会より田舎人間関係が癒し

清川 忠男さん(60代)

兵庫県神戸市からUターン

都会は知らない人ばかり、田舎は誰からでも声掛けられ親しみがあるのがいい。



▲思わぬ雪との戦いは辛い、地元はそれを楽しむことも生活の一部と言われ、驚いている松島さん

趣味の写真からコレクター品が増え、その展示が兼ねられる物件と、老後は田舎暮らしの夢の実現のため物件を探していた。空気の良い田舎へ住んで持病のアレルギーが治った。

自然の中で気持ちの良い生活

海藤 晃弘さん(30代)

由美子さん(30代)

千葉県柏市からUターン

震災以降、田舎への移住を考えた。地震や災害の少ない島根県への関心、神様も居る。水道水ではなく、自然の水が出る場所。三瓶の自然、人柄に気持ちが楽になった。

妻は、地元さんべ女子会での野菜栽培や活動に参加。自給自足と生まれてくる子どもを育てるには最適

な場所。

震災で人生のスタイルを変えた

梶谷美由紀さん(40代)

東京都港区からUターン

20年間東京で暮らして、田舎へ戻るなんて考えていなかった。震災以降、子どもも体調がすぐれず、帰省して回復したのがきっかけとなる。3人の子どものUターン。夫とは別居生活だが、自然の中での子育ては最高。地元の方々の厚い手助けに感謝している。

関東には、同じ境遇で悩みを抱えている人は多いので、それが定住に結びついてくるといい。

ガスや水道の無い自然流を満喫

中山 義規さん(30代)

はるかさん(30代)

出雲市からUターン

青年海外協力隊などの活動で海外経験が長かった。とにかく人が居なくて農地があることが条件で物件を探した。人が住めそうでない物件を購入、薪や湧水で

の生活を楽しんでいる。

サラリーマン時代の贅沢な生活から脱却。信じられないくらい質素で自然な生活は何物にもかえられない。



▶妻のはるかさんは広島県出身。脱サラから地域おこし協力隊で美郷町へ移住。価値観が同じ義規さんと偶然に出会い結婚。とても充実した日々を過ごしていると、中山さんは言う

縁の無い土地で広がる繋がり

中村 典子さん(40代)

大阪市からUターン

15年前に温泉津町へ陶芸の勉強でUターン。埼玉から桜江町にUターンしていた夫と出会い、住む家を探しているうち、三瓶の方から現在の家を紹介された。定住支援策のなかった頃だったけど、縁のない土地で色々な人の繋がりができているのが嬉しい。

シリーズ石見銀山②③ 昔からある通り

大森の町並みを歩くと、こんなもの（右の写真）を見ることができます。家の基礎に、金属の輪がついています。もう一枚は、延石をくりぬいたものです。素材は違いますが、いずれも同じように使われたもの。

「駒とめ」「駒つなぎ」などと呼ばれる、馬や牛を繋ぎとめたものです。町なかで荷物の上げ下ろしをするときや、牛馬から目を離すときに使われていたと考えられています。

銀山の中心部である仙ノ山や大森の町並みの発掘調査では、江戸時代の道が何層にも重なって見つかることがあります。町なかの道は、江戸時代の初め頃から石や採掘で出た石くずを混ぜて土をつき固め、人や牛馬が歩きやすいように、整備や補修を繰り返していました。道の両側には溝がつき、道路の水はけが良くなるようにしています。大森の町並みでは、現在使われているアスファルトの道の真下に、このような道が埋もれています。

現代では、移動や荷物の運搬には車が使われているものの、昔からある道、建物にさりげなく残る駒つなぎは、400年前の人々も同じように通りを利用していたことを教えてください。

石と土でつき固められた道の上を往来する人々。小春日和の青空の下、荷物を乗せたまま、通りにつながれてのんびり主人を待つ牛の姿。そんな風景を想像しながら、春を待つ石見銀山を歩いてみるのも楽しいですよ。



【問】石見銀山世界遺産センター ☎0854-89-0183 ホームページ <http://ginzan.city.ohda.lg.jp/>

ちょんぼし語録⑮

夫：えらい底冷えするのぉ。スースーしてやれんが。

妻：ほんにな。今晚、雪がふーかもしれんね。

夫：朝間、車の雪おろさんといけんかもしれんのお。

妻：今日は、はぁー風呂入って、ぬくもって寝よや。

夫：熱っ！ 湯が熱すぎーが！ うべんと入れんが。

妻：今晚はごうげにさむーなるてて、テレビでゆうとった
けー、ちーとあつうしとっただに。

夫：そがだかな。ほんならゆうてかしてごせばいかっただ
に…あつうてたまげたがー。

妻：何ゆうとるだかな。子どもじゃないだけー、入る前に
湯加減みーりゃーいいだに。

立春をすぎても、思いがけなく寒さがやってくることもありますね。三寒四温、そうこうしているうちに春の芽吹きが皆さんに届くことでしょう。

【対訳】

夫：すごく底冷えがするね。スースーしてしかたないよ。

妻：本当に。今夜は雪が降るかもしれないわね。

夫：明日の朝、車の雪おろしをしないとイケないかもね。

妻：今日はもう風呂に入って、暖まって寝ましようよ。

夫：熱っ！ お湯が熱すぎるよ！ 水を足さないと入れないじゃないか。

妻：今晚はすごく寒くなるってテレビで言っていたから、少し熱めしておいたのよ。

夫：そうなんだ。なら言ってくればよかったのに…熱くてびっくりしたじゃないか。

妻：何を言っているの。子どもじゃないんだから、入る前に湯加減みればいじゃないの。

三瓶山山開き

期日 4月下旬

場所 三瓶山西の原

登山シーズンを迎える三瓶山。登山の安全を祈念し、自然と人間の結びつきを高めるため、三瓶山山開きが行われます。普段登るきっかけがない方もこの機会に三瓶登山してみませんか。

【問】 大田市役所観光振興課

☎0854-82-1600 (内線249)



酒仙蔵人・五郎之会 酒米(亀の尾)の田植え

期日 5月11日(土)予定

場所 温泉津町西田地区の水田 恒例の幻の酒米“亀の尾”の田植えを行います。

世界遺産石見銀山遺跡の「銀山街道」、温泉津町西田集落「よづくの里」、棚田が残る風景の中で、まさに全国でここだけの取り組みです。

飛び入りも大歓迎ですよ！

【問】 若林酒造(有)

☎0855-65-2007

田舎体験ツアー ※広島発着送迎 日帰りバスツアー お土産付き



★桜の里づくり応援ツアー

期日 5月12日(日)

場所 三瓶町志学上山

参加料 5,000円

(小学生2,500円、幼児無料)

5,000本の桜の下草刈り体験や山菜採り、三瓶温泉などをお楽しみいただきます。

【問】 大田市役所まちづくり推進課 ☎0854-82-1600 (内線211)



★国立公園「三瓶山」で米作り

期日 5月18日(土)

場所 三瓶町池田

参加料 5,000円

(小学生2,500円、幼児無料)

田植え体験や山菜採り、三瓶温泉などをお楽しみいただきます。9月には稲刈り体験ツアーも予定しています。

石見グランfond2013

期日 5月12日(日)

場所 受付、スタート・ゴールは 久手海水浴場 (大田市)

参加費 8,000円

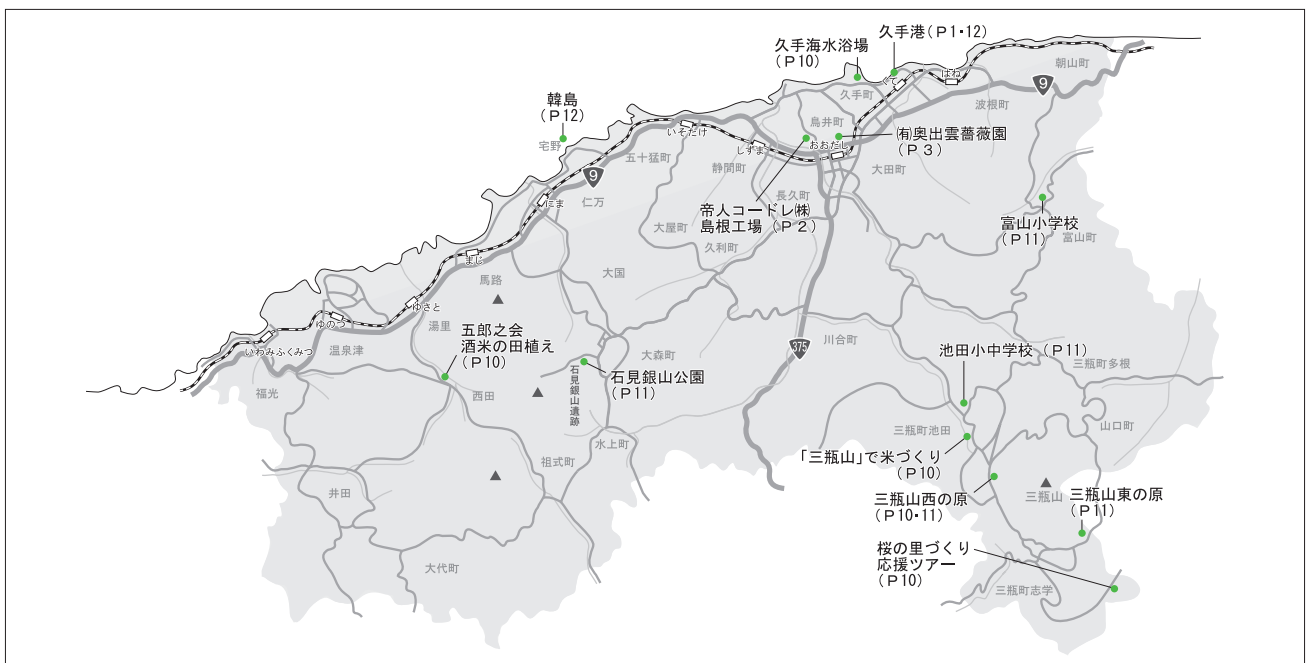
※事前申込が必要です。

石見地方の絶好のロケーションの「石見山塊往還コース (200 km)」などを駆ける、自然と一体に、そして石見の歴史文化を体感するサイクリングイベントです。



【問】 NPO法人サイクリストビュー

☎0852-21-3920



おおだ情報BOX

さんべ花火大会

期日 3月2日(土)
 荒天の場合は3月3日(日)
 (花火は19時～)
場所 三瓶山東の原
 昨年に続き2回目となる今回は、3,000発の花火が三瓶の夜空に広がります。会場では、楽しいイベントもあります！
【問】 三瓶自然館サヒメル
 ☎0854-86-0500



梅まつり

期日 3月17日(日)
場所 石見銀山公園
 坑夫たちを鉱山病から守った梅。今でも大森には梅の木がたくさんあります。春の到来を告げる梅の花が見頃を迎えるなか、イベントが行われます。
【問】 大田市観光協会
 ☎0854-89-9090

池田中学校閉校式・記念イベント

日時 3月17日(日) 9時30分～
場所 池田小中学校
 今年度末で66年の歴史を閉じる池田中学校で閉校式が行われます。「ありがとう池田中学校・霊峰さんべ」と題したイベントでは、記念碑の除幕式、池田小田植えばやし、24年度池田中卒業生による琴演奏と合唱、さわらびシンフォニックバンドの演奏などが予定されています。
【問】 池田まちづくりセンター
 ☎0854-83-2168

春の彼岸市「中日つあん」

期日 3月20日(水・祝)、21日(木)
場所 大田市駅通りなど
 季節の変わり目の彼岸にお寺の縁日に境内で物々交換をしたのが「市」の始まりで、400年以上の歴史を持つ大田市の伝統行事です。現在では、植木市など約1.5kmにわたって、約250の露店が並びます。
【問】 大田商工会議所
 ☎0854-82-0765

富山小学校閉校式・記念イベント

日時 3月17日(日) 13時30分～
場所 富山小学校体育館
 今年度末で閉校となる富山小学校で閉校式が行われます。「ありがとう富山小学校」と題したイベントでは、町民卒業生代表による「小学校の思い出」の話や、富山小学校と大田二中吹奏楽部による発表や記念碑除幕などが予定されています。
【問】 富山まちづくりセンター
 ☎0854-88-0001

三瓶山西の原火入れ

期日 3月23日(土)
場所 三瓶山西の原
 三瓶山の防火対策と草原の維持再生を目的に毎年この時期に行われています。大草原に立ち上がる炎は見る者を圧倒し必見です。
 ※見学自由
【問】 大田市役所農林水産課
 ☎0854-82-1600 (内線251)



『らとちゃん』大田市マスコットキャラクターに!!

石見銀山世界遺産登録5周年事業で生まれた『らとちゃん』は、平成24年12月24日、観光まちづくりキャンペーン終了に併せ、大田市マスコットキャラクターになりました!!

大田が大好き! 『らとちゃん』は、これからも頭に揺れる小さな炎で、人々の心や地域の未来に明かりを灯し続けながら、県内外へ大田市のPRもドン! ドン! していきますので、応援よろしくお願います。

全国 105/865位
10,310ポイント獲得!

～お礼～

昨年、11月25日に発表されました「ゆるキャラグランプリ2012」では、たくさんの方々の応援をいただきました。本当にありがとうございました。



竹腰市長と『らとちゃん』



大田市駅前に『らとちゃん』の石像が!
 温泉津町福光で採れる福光石を使った『らとちゃん』の石像

からしま 韓島(仁摩町宅野)

宅野港の沖合に浮かぶ3つの無人島は、からしま 韓島・むぎしま 麦島(無木島)・おおしま 逢島と呼ばれています。中でもいちばん大きな韓島には、本土側の平場に休憩所があり、中腹には韓島神社があります。

毎年、年に1回海水浴シーズンや韓島祭前の7月上旬に、宅野からしま会(会長高橋和也さん)、地元漁師のみなさんや有志の方々が島に渡り、草刈りやゴミ拾いなどの清掃活動を実施されています。

また、韓島はさまざまな伝承を持つ島でもあり、その一部をご紹介します。



清掃活動の様子

ふるさととは今

韓島の古伝承

- ・素戔鳴尊すさのおのみことが新羅より、五十猛命いたけるのみことや、大屋津姫命おおや つひめのみこと、抓津姫命つまづひめのみことを連れて韓島に立ち寄られ、韓島の洞窟で濡れた衣を着替えられた後に、五十猛の大浦港に上陸されたと言われている。
- ・大国主命おおくにぬしのみことが高麗からの帰途、韓島にお着きになり、大国の松こうらいの下で雨宿りをされた。(大国地区八千矛山大国主神社の由来)以後、韓の国へ渡るときの日本側の発着地となった処でもある。
- ・室町時代、銀山発見の父神屋寿貞かみや しゅていが韓島沖を航行中、南の方角に光るものを見たのが石見銀山を発見するきっかけになった。

(参考) 「歩いてみませんか宅野散策ガイド」
「仁摩町誌」

韓島近く(宅野港)までの行き方

石見交通バス(大田・江津線)の「宅野港前」バス停。JR仁万駅から車で5分。
詳しくは、宅野まちづくりセンター(☎0854-88-9511)まで

表紙 あの頃～久手港のめのは干しの風景(昭和35年・久手町)～

表紙は昭和35年頃の久手港で、めのは(ワカメ)干しの作業をしている写真です。この写真は、久手町寺前自治会の渡邊好子さん(78歳)に提供していただきました。また、久手町仕明自治会の森井晃一さん(81歳)に当時の話を聞かせていただきました。久手港の西側は、現在では護岸と道路になっていますが、当時は砂浜が広がっていました。

めのは刈りは4月中旬から5月下旬まで行われ、近海で刈り取られためのはは、真水につけて塩分を落とし、砂浜に並べた簀す(竹やあし等を粗く編んだもの)で半日天日乾燥させました。乾燥しためのはは、適当な大きさに切り揃えられて、久手港の市場に出荷されました。

めのは干しは、当時の久手町の春の風物詩であり、めのはは初夏の食べ物として家庭の食卓を飾りました。

現在、久手港ではめのは干しの光景を見ることはできませんが、毎年8月4日に港まつりが開催され、花火の打ち上げや多くの屋台や人でにぎわいを見せています。光景は違っても、今も活気を見せています。



港まつりでの久手小学校鼓笛隊の演奏

この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行／大田市役所総務部まちづくり推進課 TEL: 0854-82-1600 FAX: 0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail: o-matidukuri@iwamigin.jp <http://www.city.ohda.lg.jp/>

「おおだ」の定住サイト「どがどが」 <http://www.teiju-ohda.jp/>

どがどが 検索